

Ⅱ 調査結果の概要

1 概況

■発育状態調査

(1)身長

- ・前年度と比較すると、男子は5歳、8～10歳、13歳および16～17歳で前年度より低い数値となりました。女子は、5歳、7～11歳、13～15歳で前年度より低い数値となりました。
- ・全国平均値と比較すると、男子は5歳、8～10歳および12～13歳で低くなっており、女子は5～10歳で低くなっています。

(2)体重

- ・前年度と比較すると、男子は5歳および7～14歳で前年度より低い数値となっています。女子は、5歳および7～12歳で前年度より低い数値となっています。
- ・全国平均値と比較すると、男子と女子どちらもすべての年齢で全国平均値と同じ数値または軽い数値となっています。

(3)発育状態の世代間比較

子世代（令和5年度の調査結果）と親世代（30年前の調査結果）を比較してみると、身長の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代が親世代よりも男子は0.2cm少なく、女子は0.1cm多くなっています。また、体重の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代が親世代よりも男子が0.7kg、女子は0.9kg少なくなっています。

(4)肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

- ・肥満傾向児の出現率を年齢別にみると、男子は15歳が10.75%、女子は9歳が9.29%と最も高くなっています。
- ・痩身傾向児の出現率を年齢別にみると、男子は16歳が5.19%、女子は12歳が4.49%と最も高くなっています。

■健康状態調査

(1)裸眼視力1.0未満の者

全国平均値と比較すると、「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、幼稚園で全国平均値を上回り、小学校で全国平均値を下回っています。

(2)むし歯（う歯）

全国平均値と比較すると、すべての学校種で全国平均値を下回っています。

(3)その他疾病・異常の罹患率

- ・全国平均値と比較すると、眼の疾病・異常、耳疾患および鼻・副鼻腔疾患者の割合はすべての学校種で全国平均値を下回りました。
- ・アトピー性皮膚炎の者の割合は、小学校および中学校で全国平均値を下回りました。
- ・心臓の疾病・異常の者の割合は、すべての学校種で全国平均値を上回りました。
- ・蛋白検出の者の割合は、幼稚園では数値がありませんでした。幼稚園を除くすべての学校種で全国平均値を下回りました。
- ・ぜん息の者の割合は、幼稚園を除くすべての学校種で全国平均値を下回りました。